

# 外房法友会

法政大学校友会  
外房法友会 会報  
第 16 号

発行所 法政大学校友会 外房法友会  
発行人 古山 弘  
〒299-4415 長生郡睦沢町小滝475番地1  
TEL 0475-44-1869

## 平成30年度「外房法友会」総会報告

矢澤邦公

平成30年度外房法友会の総会を、平成30年7月7日（土）茂原市の一茂にて開催しました。当日のご来賓として、法政大学校友会組織部会山崎文彦様、千葉県校友会会長・千葉中央支部長伊藤貞雄様、千葉県議会議員阿井伸也様、千葉県校友会幹事長岡本眞司様をはじめ各支部代表者の方々のご臨席をいただき総会が開催されました。

総会は、平成29年度の活動報告、会計報告、監査報告及び平成30年度の活動計画、役員の改選について慎重に審議され、原案通り可決され無事終了しました。なお、会長の目良俊徳氏のご勇退され、新会長に古山弘氏が就任されました。



熱演する「田町家古都里」

総会終了後の第二部では、法政大学落語研究会の3名、田町家りこ一の「四段目」、田町家古都里の「釜泥」、田町家ほ八の「新聞記事」の演目を楽しく、面白く披露していただきました。落語といえば男子部員が来るものと思っていたところ、来たのは女子3名でした。聞くところによると、部員は女子の方が多とのことでした。今では法政大学の学生も女子が多いとのこと聞き及んでおりましたが、びっくりです、落語の稽古は特別に教えられることなく、先輩の演目を見ながら覚えるとのこと、二度びっくりです。

第三部の懇親会では、久しぶりの仲間との再会に話に花が咲き、また、遠方から来られた他支部の様子なども伺え、年齢も忘れ学生時代の話題が尽きず、時間が過ぎるのも忘れるほどでした。最後は、恒例の出席者全員が一つの輪になり、母校法政大学を思いながら、校歌『若きわれらが命のかぎり、ここに捧げてああ愛する母校、見はるかす窓の富士が峯の雪、蛍集めん門の外濠、よき師よき友つどい結べり、法政おおわが母校、法政おおわが母校』と大合唱し閉会となりました。

外房法友会では、平成29年度からは入会のお意思を示した方を会員とし、年会費をいただいて運営することになっています。現在は40数名の方が入会されています。ぜひ、入会いただき外房法友会の仲間として交流、絆を深めていきたいと思います。また、長生・夷隅地区を範囲としておりますが、今後は東金、大網白里地区等の方にも呼びかける予定でおります。

(昭和52年経営学部卒)



# 法政大学 全国卒業生の集い 千葉大会

古山 弘



法政大学全国卒業生の集い千葉大会は平成30年10月5日から7日にかけて開催され、全国から1000名を超える参加者があり、盛会裏に終了しました。

県内8支部が一致団結して準備にあたり、外房法友会からも多くの方にご協力いただきました。改めて御礼を申し上げます。

私事ですが、京都、宮崎そして千葉と3回連続で参加しました。今年は四国徳島です。現役世代の方には無理かと思いますが、定年を過ぎた皆さんには時間の余裕が出来たと思いますので、奥様同伴で参加されてみては如何でしょうか。

11月に徳島でお会いしましょう。

(昭和49年工学部卒)

## 法政大学全国卒業生の集い徳島大会

令和元年11月15日～17日

**第26回 法政大学全国卒業生の集い**

# 千葉大会

法政大学 HOSEI University  
in CHIBA 2018

THE 26th ANNUAL GATHERING OF HOSEI UNIVERSITY GRADUATES

**10/5日**  
記念ゴルフ大会  
[キングフィールズゴルフクラブ]

**10/6日**  
大会式典・懇親会  
[会場:東京ベイ幕張ホール]

**10/7日**  
エクスカーショ  
[千葉観光]

主催：一般社団法人 法政大学校友会  
主管：法政大学千葉県校友会

千葉大会記念誌表紙

全国大会のあゆみ		THE 26th ANNUAL GATHERING OF HOSEI UNIVERSITY GRADUATES	
第1回	新潟大会	1986(昭和61年)	5月17日 新潟市/ホテルイタリア軒
第2回	金沢大会	1988(昭和63年)	6月4日 金沢市/金沢都ホテル
第3回	広島大会	1990(平成2年)	8月25日 広島市/広島国際会議場
第4回	大分大会	1991(平成3年)	8月24日 別府市/ホテル白菊
第5回	富山大会	1996(平成8年)	8月10日 富山市/名鉄トヤマホテル
第6回	山形大会	1997(平成9年)	9月27日 山形市/文翔館
第7回	岡山大会	1998(平成10年)	10月24日 岡山市/岡山プラザホテル
第8回	札幌大会	1999(平成11年)	9月11日 札幌市/かでの2.7
第9回	山梨大会	2000(平成12年)	9月23日 甲府市/甲府富士屋ホテル
第10回	山口大会	2001(平成13年)	9月15日 宇部市/渡部翁記念館
第11回	仙台大会	2002(平成14年)	9月19日 仙台市/ホテルメトロポリタン仙台
第12回	福岡大会	2003(平成15年)	10月24日 福岡市/グランド・ハイアット・福岡
第13回	神奈川大会	2004(平成16年)	10月30日 横浜市/横浜港大さん橋ホール
第14回	沖縄大会	2006(平成18年)	10月28日 那覇市/沖縄ハーバービューホテル
第15回	大阪大会	2007(平成19年)	10月6日 大阪市/グランキューブ大阪
第16回	愛媛大会	2008(平成20年)	10月18日 松山市/愛媛県民文化会館
第17回	長崎大会	2009(平成21年)	10月17日 長崎市/長崎ブリックホール
第18回	青森大会	2010(平成22年)	10月9日 青森市/ホテル青森
第19回	鹿児島大会	2011(平成23年)	10月22日 鹿児島市/城山観光ホテル
第20回	島根大会	2012(平成24年)	11月17日 松江市/ホテル一畑
第21回	埼玉大会	2013(平成25年)	9月7日 さいたま市/パレスホテル大宮
第22回	福井大会	2014(平成26年)	11月22日 福井市/ホテルフジタ福井
第23回	愛知大会	2015(平成27年)	11月7日 名古屋西/ウェスティンナゴヤキャッスル
第24回	京都大会	2016(平成28年)	11月12日 京都市/ウェスティン都ホテル京都
第25回	宮崎大会	2017(平成29年)	10月28日 宮崎市/宮崎観光ホテル
第26回	千葉大会	2018(平成30年)	10月6日 千葉市/東京ベイ幕張ホール
[次回開催地]			
第27回	徳島大会	2019(平成31年)	11月16日 徳島市/JRホテルクレメント徳島



## 2019年オール法政新年を祝う会

成嶋 まさる

2019年1月27日(日)に「グランドニッコー東京 台場」で開催されたオール法政新年を祝う会に参加してきました。外房法友会では、平川監事、浅葉幹事、花澤先輩が出席されていました。今年の総合司会は法政卒業生の木村拓也フジテレビアナウンサー、池谷麻依テレビ朝日アナウンサーです。

そして第一部は法政大学特任教授 尾木直樹先生の特別講演会です。初めて知ったのですが、尾木先生は法政卒業生ではなく早稲田卒業とのことでした。ちょっとがっかり。演題は「尾木ママの囲まない生き方論」で、内容は「ありのままに今を輝く」、「負けて勝ち取れ」という精神論でお正月にはふさわしい内容のような気がします。もう少し具体的なエピソードが欲しかった気がします。池谷アナウンサーは尾木ゼミの卒業生とのことですが、このような講演内容で競争率の高いテレビアナウンサー試験に合格したとも思えず、尾木先生は講演内容を参加者のレベルに合わせたのかもしれませんが。ちょっと残念。

その後、ニューオレンジスウィングオーケストラによる演奏で第一部が終了し、第二部は校友会会長等の挨拶の後、乾杯となります。

今年も、(たぶんすごく)お忙しいなか、開演中に法政卒業生の菅官房長官が来場されて祝辞を述べられました。ところで、平成を発表したのは小渕官房長官ですが、そのときの首相を皆さん覚えて

いますか？ 答えは竹下総理です。テレビ報道によれば、竹下総理も新元号を自分で発表したかったのですが、気配りの竹下さんらしく新元号決定に努力していた小渕官房長官に発表させたいのです。平成を振り返るとき、竹下総理より小渕官房長官の方が人々の記憶に残っているようですね。

1月時点では、今回だれが新元号を発表するかは公表されておらず、ぜひ前例にならない菅官房長官に発表してほしいと思っていました。政治家であれば、だれでも自分で発表したいでしょうが、だれが発表するかは、安倍総理の判断次第だと、にわか政治評論家の成嶋は考えていました。結果は皆さんご存知の通りで、良かったです。このときの菅官房長官の祝辞で新元号候補案の話でも出ないかと思いましたが、さすがにそれはあり

ませんでした。就任期間最長の官房長官は、失言しません。

菅官房長官はすごい人気で、アイドルの握手会みたいに、名刺をもらう人の列があつというまにできました。千葉大会では名刺をもらえませんでしたので、近くにいるSPに不審に思われないよう行動に気をつけながら、素早く列に並び、今回は無事に名刺をいただき、写真も取っていただきました。

その後、いつもように応援団のアトラクション、校歌斉唱でお開きとなりました。2020年は1月26日(日)に開催されます。消費税が上がりますので、会費増も懸念されますが、料理やお酒、興味深い講演もありますし、確率は低いです。運がよければ校歌斉唱でチアガールと肩を組めるかもしれません。十分「もと」はとれますよ。ぜひ皆さんも参加されてはいかがでしょうか？

(昭和57年法学部卒)



芭蕉論(十)

渡辺光夫

「芭蕉俳句集」 岩波文庫。

中村俊足校注。 文庫版、七八二頁。一九七〇年発行。芭蕉の発句を文献によって年代順に配列した。

芭蕉の作を明らかに文献上認められた発句九八二句。存疑の部、芭蕉の発句として伝来しながら、なお決定しがたいもの。五五〇句。偽書簡中の句、二六句。誤伝の部、従来芭蕉作と伝えられてきたもので、他の作者の作であることが文献上確かめられたもののみ。二〇八句。

以下、文献上彼の句で有名なものがどうあつかわれているかを取り上げる。

古池や蛙飛こむ水の音

春の日

古池や蛙飛んだる水の音

庵桜

山吹や蛙飛込水の音

暁山集

閑かさや岩にしみ入る蟬の声

おくのほそ道

山寺や石にしみつく蟬の声

曾良書留

さびしさや岩にしみ込蟬のこゑ

初蟬

淋しさの岩にしみ込せみの声

こがらし

大津に出る道、山路をこえて

山路来て何やらゆかしすみれ草 甲子吟行

何とはなしになにやら床し堇草 皴筍物語

何となく何やら床し堇草 三冊子

しら露もこぼさぬ萩のうねり哉 真蹟自画賛

白露をこぼさぬ萩のうねりかな こがらし

白露もこぼれぬ萩のうねり哉 栞集

所思

此道や行く人なしに秋の暮 其便

この道を行人なしに秋の暮 芭蕉書簡

人声や此道かへよ秋のくれ 笈日記

此道を行人なしや秋のくれ 淡路島

病中吟

旅に病で夢は枯野をかけ廻る 笈日記

旅にやんで夢は枯野をかけたまはる 芭蕉翁行状記

旅にやみて夢は枯野をかけためぐる 和漢文操

「藻の花俳句会」会報、「藻の花」へ四〇回連載中のその一部を転載したものである。(昭和三十三年経済学部卒)



## 大学生生活最後の春休み

海老根秀昭

平成25年度に、初めて「外房法友会」の会報に寄せた文章の終盤に、「大学生生活最後の春休みに九州一周約千百kmのサイクリング中の様々な出来事について、機会がありましたら、お伝えします。」で終わっていました。

今回、機会を与えていただきましたので、少し続きを書かせていただきました。

大学生生活の思い出にと春休みに、九州一周のサイクリングに挑戦し、昭和57年2月21日に、新幹線で博多駅まで行き、自転車を組み立て、西回りで走り始めました。2月25日に鹿児島に着き、ここまで約460キロ走破しました。

宿で休んでいて、いよいよ明日は本土最南端の佐多岬行きだと意気込んでいたところでした。

当時ですので、携帯電話は、ありません。母から宿に電話が入り、「教員採用の面接があるのですぐに帰って来なさい。」とのことでした。

翌日、西鹿児島駅（現在の鹿児島中央駅）に自転車を預けて、寝台特急富士で24時間以上をかけて東京駅に着き、自宅に戻ってきました。

翌日、夷隅地方出張所の三名の方を前にして、夷隅教育会館で面接があり、「教員になる動機は。」「スポーツは、何かやっているか。」「車の免許は、持っているか。」などを聞かれたというメモが残っています。

採用する側としては、私が面接に来れない場合は、次の候補者がいたはずであり、家族には、まさに薄氷を踏む思いをさせてしまい、大変、反省しました。

面接が終わると、自転車は鹿児島に預けてあるし、この挑戦を途中ではやめられないという思いがつのり、再度、東京駅から寝台特急富士で、鹿児島に向かいました。

記録によると、鹿児島に着き一泊し、3月11日の午前7時に宿を出て、目的地の一つであった本土最南端の「佐多岬」に到達することができました。

周辺は、特別天然記念物のソテツが自生し、亜熱帯の景観が、見事でした。

その日は、国民宿舎佐多岬荘（現在は、「ホテル佐多岬」）でゆっくりと過ごし、翌日から始まる宮崎、大分、福岡行きに向けて疲れをいやしました。

思い出満載の九州一周、約千百kmの旅は、3月16日に終えて、4月から無事に、教員生活が始まりました。

この3月に、37年間の教員生活にピリオドを打つことができたのも、母から宿への一本の電話のお陰と感謝しています。



【本土最南端の佐多岬にて】  
（昭和57年3月11日）

（昭和57年工学部卒）

## よき師、よき友

石井肇

28年前の春、法政大学から合格の知らせが届いた。今は他界した両親に「法政大学に受かったよ！」と伝えた際に「おめでとう！」と言ってくれ、握手をした父親の笑顔とその手の感触、母親の喜んだ顔は今でも鮮明に覚えている。

入学式の際には、その後の体育会陸上競技部の大先輩であり、現経済学部教授の杉本龍勇教授から「グラウンドで待っているよ」とお誘いを頂いた事、初めてグラウンドに行った時には、男子100メートル前日本記録保持者の不破弘樹先輩から「俺がビシバシしごいてやる！」と優しく握手をして頂いた事、丸山吉五郎・法政大学名誉教授から御指導を頂いた事、現スポーツ健康学部軽部俊二教授にはコーチとして御指導を頂き、また練習も一緒にさせて頂き、4年生で引退した際には「石井は良く頑張ったよ、この経験は社会に出てから役に立つ」と言って頂いた事など、とても良き思い出である。以来、胸に刻み込まれ、苦境に陥った時には心の支えになっている。

法政大学は、素晴らしい大学である。「自由」「独立」「進取」「国際的な姿勢」そして「社会の公正さへの強い意識」（抜粋 法政大学の歴史とミッション）があり、それを実践しているのは、学生、役職員、卒業生、関係者である。法政の「人」が素晴らしいのだ。その良き例として、体育会陸上競技部は、やる気さえあれば誰にでも門戸を開いている。

外房法友会にお誘いを下さった古山会長、一昨年の忘年会で感極まった際に「頑張れ！」と声を掛けて下さった大先輩の方々、「人情が一番」と言って下さった浅葉大先輩のお言葉など、「人」に寄り添うという素晴らしさに心から感動した。やはり法政大学は懐深く広く「人」を受け入れてくれるのだ。法政は「人」に寄り添うから「人」から愛されるのだ。

こんなに素晴らしい大学を母校と呼べる事はとても幸せな事である。亡き母から「大学は一生のものになるから」と言われた事が今になり身に染みて感じられる。なお、末筆ながら、心からのお言葉を頂戴した全ての先輩に、この場をお借りして心から感謝を申し上げたいと思う。

(平成8年社会学部卒)





## 「私と書道」

金坂 裕美子（旧姓上野）

私と書道との出会いは、生まれ育った埼玉県春日部市のとある書道教室で小学校1年生の時であったと記憶しています。子供の頃は、1つ級が上がる度にうれしくなり、張り合う友達もたくさんいたので、どんどん書道にはまっていきました。

法政大学時代は、社会学部であったので、毎日片道2時間かけて春日部から西八王子まで通学していました。この頃は、社会調査系のゼミ活動、サークル活動、六大学野球の応援、アルバイトなど色々なことに興味を持ち青春を謳歌しており書道とは少し距離をおいていた時期でした。またこの頃は色々な資格を取ることに挑戦しており、簿記、情報処理、秘書検定など自分を磨くことに日夜努力していました。自分で言うのも何ですが、輝いていた時期でした。

話はそれますが、大学3年生の時に今の夫と知り合いなぜか結婚までしてしまいました。この話は、別の機会で・・・

大学を卒業してオリックス株式会社に就職しました。ちなみにあのイチロー選手とは、一応同期入社になります。また、話はそれますが結婚式の時に当時の仰木監督とイチロー選手から祝電をいただきました。

オリックス時代にまた書道との出会いが訪れるのです。春日部から浜松町までの通勤途中に子供の頃に通っていた書道教室の本部を見つけたのです。運命を感じ、さっそく本部教室と本部教室で立ち上げた書道専門学院へ通うことになりました。ここに通うようになって生涯の師と呼べる藏元先生と出会い、また生涯の友と呼べるような素敵な人達と出会うことができました。この書道専門学院を卒業してからもこの先生を囲んで、この素敵な仲間たちと月1回いまだに指導を受けております。

また、このグループで毎年、銀座で展覧会を開いております。皆様も興味がありましたら一言お声をかけていただければ案内状をお送りさせていただきます。宣伝してしまいました。個人的には、娘たちが小学生になる頃から自宅で書道教室を開いております。今年で15年になります。

このように私にとって書道は人生の大半をしめており、これからも素敵な書道の仲間たちと書道ライフをエンジョイしていきたいと思っております。まとまりのない話になってしまいましたが、今後ともよろしく願いいたします。

（平成4年社会学部卒）

次ページに金坂さん（金坂翠香）の書を撮影したものを掲載してあります。

1枚目が「花草山水」

2枚目が「赤いランドセル」3部作です。

絵画のような美しい書です。

花草山水



赤いランドセル3部作

